

朝霞市ソシアルダンスクラブ

まえがき

英国には、ダンスを学ぶ人の必読書とされている「ボールルーム・ダンスィング」という本があります。しかし、残念なことに、この日本語版はありません。私たちが書店で入手できる本といえば、少しばかりのフィガーを載せただけのものが多く、満足のゆくものではありません。また「ボールルーム・ダンスィング」のエッセンスを取り出し更に多くのフィガーも加えた「リヴァイズド・テクニーグ」という同じ著者から出した本の日本語版はありますが、これは初心者には難解で、足型を示す図もありません。そこで、仲間の手を借りて「ボールルーム・ダンスィング」の一節を翻訳しようと思ひ立った訳です。

朝霞市ソシアルダンスクラブは、その前身である「ソシアルダンスの会」(1979年9月1日発足)といふサークルとして出発して以来、常に「奥の高いもの」ということを急頭において活動して来ました。言ひ換えれば、どうすれば個人レッスンの時の様な成果が挙げられるかという課題に取り組んで来た訳です。その為には、個人個人のダンスに対する意識を高めてゆくことが一番大切だという結論に達しました。内容の濃いレッスンを受けることは当然大切ですが、それをより濃くする為には、より踊りを見、よく学び考えることが必要だと思います。今回の翻訳は、その「よく学び考える」という点で、熱心なクラブ員に大いに役立つものと確信しております。

互いに研究し合い「習い上手」になろうではありませんか！

尚、この「ボールルーム・ダンスィング」を書かれたアレックス・ムーア(ALEX MOORE)氏の偉業に敬意を表すると共に、氏の書かれた序文を原文のまま載せたいと思います。

1982年3月12日

朝霞市ソシアルダンスクラブ

神元 誠

THE WALTZ (ワルツ)

ワルツのステップは、現代のダンスの中で最も学びやすいものでしょう。しかしながら、ステップはダンスにおいて最も重要な要因ではありません。踊る人は、きれいなスウェイや軽快な動きを学ぶ前に、いくつかの他の細かい事に充分注意しなければなりません。

たとえば、回転する時のスウェイを容易にするC.B.M.の正しい使い方や膝の曲げ伸ばし、それに加わるライズ、または、充分にコントロールされたボディ・スウェイなど、すべてが行なわれて、流れるようにズムにのった軽快な動きを生み出すことができるのです。

これらの要点は、それぞれの項目で取り上げられていますから基本を理解した上で勉強して下さい。

参考

拍子----- $\frac{3}{4}$ 1小節の中に3拍ある。

速度----1分間に31小節演奏される。

基本のリズム---スローとかクイックではなく、1.2.3.
と数え、1にアクセントが来ます。

初心者向けにまず3つのフィガーハーがあり、これらをつなげてゆけば、ワルツが踊れます。それは、クローズド・チェンジ、ナチュラル・ターン、それとリヴァース・ターンです。ここではこれらのフィガーハーを、次にくるフィガーハーが斜めの方向へと進むように組み立ててゆきます。そして各3歩毎に $\frac{1}{8}$ 回転しかしません。ですから、6歩で完全な円を描くように踊る(つまり360度回転する)ことはありませんから、十分元をつけて下さい。

通常クローズド・チェンジでは回転はしなく、このフィ

ガーをナチュラル・ターンからリヴァース・ターンに入る時、または、逆の場合に用います。

次の練習方法は男性用ですが、女性はこの逆を行なって下さい。

まずクローズド・チェンジを習います。初の右足から出て次に左足というように続けて、部屋にそって走り、すぐに進みます。この初期の段階においても、ライズ & フォーリングや、更には、ボディ・スウェイのことを知つておく方がよいでしょう。これらの詳しい事は、簡単に覚えられますし、あとで回転の練習をするようになつて時、役立つでしょう。

次にナチュラル・ターンを学びます。そして今度は2つのフィガーハーを次のように組み立てます。

壁に沿いクローズド・チェンジを行ない、角に来たならナチュラル・ターン(6歩)を踊り、次のL.O.R.に向かう。同様にして次の角まで行きます。

これは勿論その部屋が適当な広さである事を仮定している訳で、非常に広い所では、部屋の一部を使って練習するとよいでしょう。

さて次はリヴァース・ターンです。これを覚えたなら、3つのフィガーハーを使って次のようにして組み合わせてみましょう。

壁斜めに向いて始めます。

右足で前進し、ナチュラル・ターンの1.2.3.を踊りL.O.R.に背面して終わります。

左足で後退し、ナチュラル・ターンの4.5.6.を行ない中央斜めに向いて終わります。

右足で前進し、回転をせずにクローズド・チェンジをします。

THE TANGO

(タンゴ)

一般的英國人はタンゴをとても重ね、ト踊り手と見なしていますので、習得困難なものと受け取らざるが、実際には、ステップはクイックやブロー、ノックストロットよりも、はるかに簡単です。ただ、の踊りのスタイルや特徴は、かなりつかみ所のないもので、これは通常タンゴの'atmosphere' (雰囲気、ライム) と呼ばれています。

近年に致るまで、英國人ダンサー達はイ自然でござこぢないホーリドや、かなりゆったりとした動きを取り入れて、この「雰囲気」を出すための努力をしてきましたが、その結果這い回った様な、不格かな踊りとなり、しまいました。そこでの動きの中にもっと歯切れの良さを取り入れたところかなり躍動感のある踊りになりました。歯切れの良い動きを誇張する傾向は批判を買いましたが、今日に統いつります。

タンゴの音楽は大変魅力的なので、一般の人が2、3の簡単な基本のフィギュアを普通に習うとしても、それに時間を費やすだけのことは余分あるでしょう。また、あのつかみ所のないタンゴの雰囲気を会得しようと頑張っている人は、魅力的なこのタンゴのリズムと止しく踊りに表現するよう努力すれば、良い結果が得られるでしょう。

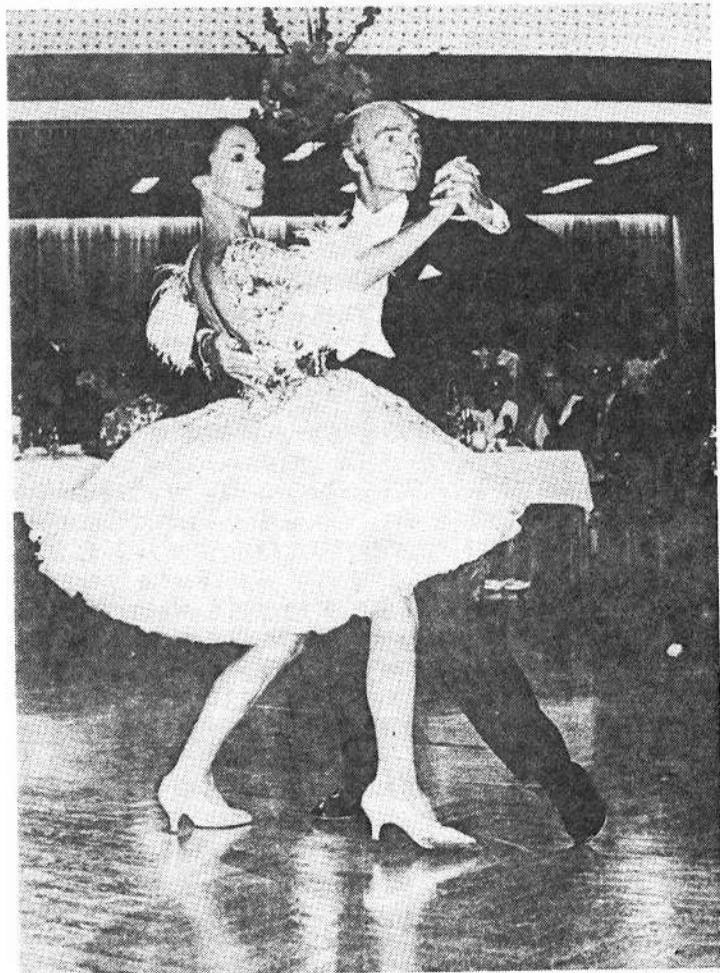
●●参考●●

▷拍子

$\frac{3}{4}$ 拍子。1小節の中に2拍あり、どちらにもアクセントがあがれる。

▷速度

1分間に33小節。



THE TANGO HOLD
Shown by Bill and Bobbie Irvine

編後 集記

● いちねんかんごくろうさま。これでやっと、どうびのよるもあそんでもらえるわ! でも、おへんきょうかはがなくなると、さみしいきもするわ。.
(かんもと あすか) 2019年4月

★ 先生・スタッフのみなさん、本当に1年間ありがとうございました。僕がいなければ、おそらく半年で終わっていた事でしょう。この1年間苦しがってだけに僕にとって大きな思い出となりました。ワルツの1歩にもとつても奥深いものがあるんだ! という事を感じただけでも実に幸せだと思っています。でも翻訳の中には、僕の説した言葉が一語でも二語でもある事を自負しています。(ひやう ぶんじ)

● 土曜日(勉強会の日)は 朝からメンバーの夜食のメニューを考え、買物、下ごしらえ、会場(我家の六畳間にこたつとおせんを並べただけのせまいもの)の用意、小だんあまりしない所の掃除。その他もろもろの家事を片づけてレッスンに出かける——そんなくりかえしが、一年続きました。翻訳には直接のかわることが少なかつたので、その方では悩みませんでしたが、メニューにはホントに苦労させられました。皆の喜ぶ顔を思いうかべながら包丁を持っていろいろうちにその苦労がハラハラに変わり、できあがる頃には、すっかり心が変身してしまつてゐるのです。この楽しみがなくなってしまうのかと思っています。この楽しみがなくなってしまうのかと思うと、ちょっとびりさみしい気もします。翻訳にかかるつ

たメンバーの努力は、ハタで見ても涙ぐましい限りでした。仕事、ダンスの練習、それだけでも大変なのに貴重な時間をやりくりして譲してくれますから。睡眠時間が足りない人もいたことでしょう。若い人達の力はすばらしいですね。うちのご亭主も、今までの人生では一番よく勉強した一年だったようです。立場上しかたなく……という面もあるのでしょうが、何かを形にして残す。そんな決意がここまでこさせたのだと思います。

皆の努力の結晶です。どうぞこれを充分ダンスに活かして上手になってください。おねがいします。

(Hisako Kamimoto)

● 1年間お疲れ様! みんなの貴重な時間を随分費さしてしまいました。お陰で他のクラブ員と酒を飲みたくても飲めなかつたでしょう? 高麗さん、倉重さん、はたまた誠郎さん達にあつてはお家のオニ多大な御迷惑をおかけした事と思います。でも、こんな立派なものが出来ました。誰一人の力が欠けても、これは出来なかつたと思います。本当に有難う。

それにしても昌庚だ、たま。英語も充分に知らない者達が、全く知らないダンスの本を読むなんぞ。今考えるとゾッとしますが、今迄振り返らずに突走して来たから出来たんだと思います。この若さに乾杯! そして食事の世話をしてくれた妻に感謝! 最後に、翻訳にダンスの知識面で大きな協力を下さった久子先生に感謝!

(神元 誠)

● 一年で長いようで短いものですね。しながらよく続いたものだと思ひますよ本当に。毎週土曜日のレッスンの終った後に集つて作業を進めたのですが、何といつても久子先生の心づくしのチ料理がよかったです。今、想ひ出すだけでも、おっとヨダレが……ズズズズ……。そして翻訳作業を終えたあとの酒が格別でしたネ。毎週酒が飲めるならもっとやっていいファ。この一年一番上手になつたのは、ダンスより、英語より、酒だったりして(先

生エメンナサイ！）。自分の割り当ての場所すら満足に誤せず歯痒い思いをしたこともありましたヨ。時には東の空が白み始める頃まで人生について、恋愛について語り込んだり---。馬鹿話でお腹の皮が擦れる程笑いきたり---。この一年いろいろなことがあったけれど最高に有意義な一年間だったと思う。この仲間にしてこの一年あり、この節にしてこの一年あり、というところかな。みんな、この一年間ほんとうにありがとうございました。久子先生、誠さん、ほんとうにご苦労様でした。そして最後に、このテキストを手にされる皆さんのお役に立てば幸いです、恋人一人作らず（作れずではないのだ）頑張ってさた甲斐があるとこうものごとくウッウッ---）。

（酒乱童子こと高麗さん）

ほんの軽い気持ちでと思ったのが大まちがい。いざ蓋を開けてみると、なんと厄介な代物でしょう。それまでの平穏な日々ほどこへやら、土曜日が近づいてこようものなら、通勤電車の中、み昼夜休みまで通勤員。所からはず本を開かなくてはならない始末です。毎日持ち歩く辞書の手元と重たいこと……。まさか社会に出てから英語に接することになろうとは思っていませんでしたから、頭の角に追いやった英語の記憶は、ちょ、とやと、とでは戻って来よう旨もありませんでした。（もともと、たいたいものは存在していませんか、たのですが……）こんな調子ですから時間のロスの方がはるかに多い、たし、ノートを見てモルタルの訂正ばかりです。でもその中には、初めて出て来たことに頭をひね、た瞬のこと、ステップの一つ一つに底知れないダンスの深さを感じた瞬の二と、疑問が解けて感激した瞬のこと、遂に降参せざるを得ず自分に哀訴をつかした瞬のこと、苦しそうに日本語をこじつけた跡までハッキリと残っていて、まるで日記のようです。1年間という厚みにしては、ほんのわずかなものですが、その結果を形めるものとして残せたことはとてもうれしいことです。それにこの翻訳を通して、いろいろと得るものが多く、たのび。これから自分に大きなプラスによると思っています。1年間、根気よく私達を引っぱってきて下さ、た誠さん、陰、日

向になり、支えて下さった久子先生、本当にありがとうございました。そしてメンバーの皆さんお疲れ様でした。
さあ、今日からは自由です！
(まりの倉重)

翻訳と言えば、学生時代の英文解釈が思い浮ぶ、私にとって翻訳は興味を持てなかつた分野の一つであったが、即ダンスに結び付くと思い挑戦してみた。振り返ってみると戦闘苦闘の一年間だったとは言えないが、翻訳を通して、ダンスの奥の深さを感じ、そしてダンスに対する認識を新たにし、またダンスの上達に多大な影響を与えたと確信している。強烈に思うことは翻訳の後半に述べて文章にさ慣れ、これからとまうときにつぶやくことです。翻訳の予習にあまり時間を取りなかつたとさうが、取らなかつたとさうか、翻訳のメンバーには随分と迷惑をかけたと思っています。翻訳を通して感じたことは、ダンスと同じく訳すのにも、その人の性格が表れるんだなあと思い、また日本語の難しさを肌で感じました。「私は翻訳家には成れない」。何度か翻訳が行き詰ったとき、久子先生の適格なアドバイス、やはりダンスに精通した先生がいなければ、このような立派な訳本が出来なかつたと思います。翻訳のある土曜日は、勉強会と神元邸のパーティーに出席するよう女気分で参加しておりました。（翻訳のメンバー、ごめんなさい。）、久子先生、手作りの料理。すばらしい（delicious!）の一言。毎週今日は、どんなメニューだろ？」と期待胸をふくらませながら参加しておりました。心に残るメニューを想い出してみると、い、ぱ、いあり過ぎてこの文面には書き切れませんか、その中で豆納豆のテンポラは美味でしたよ。先生!! この一年間は盛大に飲み、かつ食べなみ!! 私の人生の中で朝方までお酒を飲み語り合うとまうこととはあまりなかったことで、良い勉強をさせて下さいました。最近ではベントの神元に原書を置き、読み流す習慣が身についている今日この頃です。この訳本が発行される運びになったのは、ひとえに神元先生御夫妻の尽力によるもので、心から感謝し、あれを申し上げます。

Masayumi Mochida

蝶々 **こんなに勉強したのは何年ぶりでしょ？** 学生時代最も得意としていた英語が、今は当時よりかさよつになりつたといつ気がします。翻訳ではいつもみんなの足を引くはるばっかりでホントニ迷惑をおかけしました。引退しようと何度も思つたことが…でもみんなの足を引くばかりも最後まで参加できることは私にとって大きな喜びです。（お気付ですか？みんなの足が長くなっていることに）

この翻訳で、考えなしに踏んでいた一歩が大切な意味を持つ一歩なんだとわかったときの感動は大きいものでした。又ダンス以外にも英語、料理 etc. といろいろな知識の収穫があつた事は私にとって充実した一年だったと思います。それに対して考え方をつかなかつたことは細かく書いて本「小言」に人物に感心するばかりです。マジマジ 終わーフボッセと一息ヨカッタア 傑大アス Alex Moore にカンパニーをして久子先生+1と私たちの勇士にバンザ～

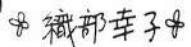
（おりべみわこ）

♪ この一年、時間が過ぎるのをとても早く感じました。毎週土曜日ダンスの練習後、翻訳の勉強会をやったので可いが、終わってからと思うとすぐ土曜日なんです。自分の英語力のなさ、や小以上に、日本語を知らないのに落ち込む時も多々ありました。忙しかったり、苦しかったりでしたが、とても充実して時間を使ってよかったと思います。

“Ballroom Dancing”という本を借りて、ステップ一つ踏むにしても、トウ、ヒール、ライズがあったり、スウェイがあるたり、いろんなものから出来ていることがわかりました。この本を読もうと考え、みんなをリードして下さった誠先生、良い稽古をありがとうございました。久子先生も明日花ちゃんもいるしで大変だったと思います。おかげで料理のパーティーもふえたし、すぐにでもお嫁に行けそうです。（相手がいねば）

文章だけで理解できない時、久子先生は的確に説明、補足して下さいました。先生がいかにダンスを熟知しているか、あらためて敬服する同時に、こんなに優れて

先生に慕まれて私は幸せだと思いつらせられました。とにかくこれからが大切です。みんなで勉強して、大いにこの本を生きし、理解できないところは、クラス員同志で話し合ったり、先生に質問したりして、自分のものにしましょう。

“明日からのあなたのダンスは変わります” 



1982年2月